

板橋中央総合病院 無痛分娩看護マニュアル

※満足のいくお産となれるようにサポートいたします※

1. 妊娠中の看護

- ①妊婦健診において各週数に応じた個別性のある指導を行います。また、無痛分娩における情報を提供し、不安の軽減に努めていきます。
- ②無痛分娩希望者には30週までに「無痛のお話」を聞いていただきます。その際同意書を説明・お渡ししますので入院時までに提示していただきます。

2. 入院当日の看護

当院は計画無痛分娩とオンデマンド無痛分娩があります。計画無痛分娩では分娩の前日に入院していただきます。以下は計画無痛分娩の際の看護援助と同様です。

①入院前

- ・カルテにより情報収集を行い、医師の指示を確認します。
- ・医師と週数など(前回のお産の状況など)を確認の上、入院予定日を決定します。
- ・37週になったら後期採血と一緒に無痛採血(凝固等)と骨盤のレントゲンを撮影します。

②入院時(10時来院を促します)

- ・同意書の有無、署名の確認を行います。
- ・必要書類をお預かりし、病棟オリエンテーションを行い、入院スケジュールを説明します。
- ・バイタルサインの測定、CTGモニターを装着し、全身状態と胎児の状態の観察と評価を行います。
- ・破水なく、胎児心音も問題ない場合はシャワー浴・清拭を促します。
- ・医師より促進・誘発の説明を行い、同意書を確認の上、医師の診察を行い、その診察介助を行います。診察所見によっては必要時ミニメトロの挿入があります。
- ・必要時、硬膜外麻酔のカテーテル挿入介助を行います。
- ・ガイドラインに沿ってCTGモニターやドップラーで心音聴取を行い、胎児の状態と陣痛の状態を評価していきます。

3. 分娩当日の看護

①準備

- ・カルテで患者情報を確認します。無痛採血、レントゲンがとれていること、同意書を確認します。
- ・医師の診察の介助を行います。
- ・診察の所見などに応じた点滴(促進・誘発)など医師の指示を確認し、準備を行います。
- ・CTGモニターを装着し、胎児の状態と陣痛の状態を観察・評価していきます。
- ・必要時、促進・誘発を開始し、適宜内診して分娩進行状態を観察・評価していきます。

②硬膜外麻酔開始時

- ・患者確認を行います。
- ・CTG の評価、バイタルサイン測定(SAT モニターまたは小モニター装着)を行います。
- ・硬膜外麻酔開始時は血圧を 5 分ごと、処置後 30 分間隔で測定していきます。
- ・適宜、副作用等著変がないか確認していきます。
- ・トイレ歩行が難しくなるため尿道留置カテーテルを挿入します。

③分娩進行中

- ・CTG モニターを継続的に装着していきます。
- ・必要に応じて促進剤の量を段階的に調整していきます。(医師へ相談のもと)
- ・適宜、診察やモニターなどで分娩の進行を評価していきます。必要に応じて医師と診察を行い、エコーにて胎児の状態を観察することがあります。
- ・麻酔効果を評価し、痛みに応じて麻酔薬を追加していきます。
- ・硬膜外カテーテルの刺入部は適宜観察し、異常がないことを観察していきます。

④分娩時

- ・分娩の準備を行っていきます。
- ・ベビーの蘇生の準備など安全にベビーキャッチが行えるよう準備していきます。
- ・必要時クリステル圧出法や吸引分娩、鉗子分娩でお産をお手伝いすることがあります。
- ・胎児の状態に異常がなければ家族写真などバースプランに沿ってケアしていきます。
- ・新生児蘇生法のアルゴリズムに沿ってベビーのケアを行ってきます。

⑤分娩後

- ・硬膜外麻酔は分娩後 OFF にします。
- ・母子ともに異常がなければ、産後 2 時間一緒に過ごしてもらうことが可能です。(立ち会い者も)
- ・母体の退行性変化・全身状態の観察を行っていきます。異常時は医師に報告し、適切な処置を行っていきます。
- ・医師の処置が終わり、母体の全身状態の観察後、硬膜外カテーテルの抜去の介助を行います。
- ・分娩後 2 時間が経過し、異常がなければ帰室の準備をしていきます。また、帰室後の注意事項や産後のスケジュールの説明を行います。

✿ご出産は、ご本人・ご家族にとって、大切な一大イベントです。満足のいくお産となれるよう、スタッフ一同お手伝いさせていただきます。✿